

令和5年度上越教育大学教育職員免許法認定講習に係る開講科目の授業概要

No	開設科目名	授 業 概 要
1	視覚障害心理・生理学論	現代社会及び特別支援教育の各枠組における視覚障害のとらえ方、視覚障害の原因にかかわる生理・病理に関する基礎的内容、盲児と弱視児の知覚・認知をはじめとする心理に関する諸特性について講述する。その際、家庭や医療機関との連携を通して、より多様な特性理解を図るための観点について補足する。また、これらの心理・生理・病理に関する知識を基にして、学校における具体的な支援場面を想定した視覚障害児の合理的配慮について考える機会を提供する。
2	聴覚障害教育課程・指導法	本科目のねらいは2つある。1つは、言語指導法の変遷を核としながら国内外の聴覚障害児教育の歴史について概観し、聴覚障害児教育の理念と方法に関する考え方を整理したうえで、今日の教育制度や教育課程編成、カリキュラム・マネジメントの考え方を理解することである。もう1つは、コミュニケーションモードや聴覚障害児の障害特性、認知特性、発達課題に関する理論を学んだうえで、教科指導法及び自立活動指導法の実際について具体的な授業場面を想定して指導案や個別の指導計画を作成する方法を身に付けることである。各教科等の指導の効果を高めるために必要な学修環境の整備とICT及び教材・教具の活用についても創造する力を身に付ける。
3	知的障害心理・生理学論及び知的障害教育課程・指導法	知的障害のある幼児児童生徒の知的障害の心理面及び生理面の特徴並びに相互作用について理解し、一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知特性を理解し、家庭や関係機関との連携について理解する。特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校（知的障害）において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解し、カリキュラム・マネジメントを理解する。知的障害のある幼児児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。
4	肢体不自由心理・生理学論及び肢体不自由教育課程・指導法	肢体不自由のある子どもの病理面・心理面・生理面の特徴とそれらの相互作用、子ども一人一人の肢体不自由の状態や発達特性把握の必要性、家庭や医療との連携のあり方を理解する。特別支援学校（肢体不自由）における教育課程の意義、子ども一人一人の肢体不自由の状態や発達特性を記す個別の指導計画の作成方法、個別の指導計画やこれまでの教育実践を踏まえた教育課程編成の方法と、評価に基づくカリキュラム・マネジメントの考え方を理解する。また、各教科等における子ども一人一人への配慮事項を理解し、自立活動と関連付けた授業設計を行う方法を身に付ける。
5	病弱心理・生理学論及び病弱教育課程・指導法	病弱（身体虚弱を含む）の幼児児童生徒の病気等に関する病理面と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解し、一人一人の病気や障害の状態、社会性の発達及び認知の特性を理解するとともに、家庭や学校間、関係機関との連携について理解する。また、特別支援学校（病弱）の教育において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて理解する。さらに、病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。
6	発達障害及び重複障害心理・生理学論	発達障害や重複障害等のある幼児児童生徒の心理面や生理面の特徴、相互作用及び二次的な障害について理解し、一人一人の状態及び感覚や認知特性等を理解し、家庭や関係機関との連携について理解する。また、発達障害のある幼児児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。